

てんかんセンターだより NO.2 ～脳波検査ってなに？～



てんかんの診断や経過観察に欠かせない検査のひとつに「脳波検査」があります。名前は聞いたことがあるけれど、実際にどんなことをするのか、なぜ必要なのかはよく分からないという方も多いかもしれません。



脳波検査ってなに？

てんかんの診断で、最も重要なのは脳波検査です。脳波検査とは、脳の神経細胞が出すわずかな電流を、頭皮に装着した電極(24個)で捉え記録する検査です。この記録を分析することで、脳の活動状態を評価し、異常がないかを調べます。

なぜ寝てるときの脳を調べるの？



1. 異常が見つかりやすくなる

てんかんでは、脳にてんかん特有の波(てんかん波)が現れることがあります。脳は起きている時と寝ている時では違う働きをします。眠っている時の方が、てんかん波が現れやすくなります。

2. 発作のリスクを予測できる

睡眠中にどれだけてんかん波が出るかを見ることで、将来の発作リスクを予測できます。薬で発作が抑えられていても、てんかん波が確認できる場合には発作のリスクがある状態です。逆に、脳波が安定していれば発作が起こりにくい状態であると判断できます。

3. 薬の判断にも役に立つ

睡眠中のてんかん波を確認することで薬の調整などの対応に繋がります。

検査はどんなふうに行われるの？

1. 検査前の準備について

- 検査当日は、整髪料(スプレーやワックス等)は使用せずにご来院ください。
→整髪料が電極の装着に影響することがあります。
- 検査前に睡眠導入剤の服薬指示がある方は、下記の時間に外来へお越しください。

小児科の方：検査時間の1時間前 **成人の方：検査時間の30分前**

2. 検査室へご案内

- 検査は、本館2階「生理機能検査室」で行います。
- 検査前に服薬指示がない方は、直接「生理機能検査室」へお越しください。

3. 脳波検査の進め方

- 検査室では、ベッドに横になっていただきます。
- 頭部に小さな電極(シール状のもの)を貼ります。
- 電極を装着したまま、安静になって目を閉じた状態で脳波を記録します。
- 検査中に、以下のように声を掛けをさせていただきます。
 - 目を開けたり閉じたりしてください。
 - 深呼吸をしてください。
 - 一点滅する光を照射するので、目を閉じてください。
- 検査時間は約1時間程度です。(検査内容により異なります)

4. 検査終了後

- 電極を外し、頭皮についたペーストを拭き取ります。
- 当日、診察がある方は、外来へ戻り受付へ検査が終わったことを伝えてください。
- 検査のみの方は、お会計をして終了となります。

※お薬を使用した方へ

- 検査が終わっても覚醒していないようであれば外来へ戻り観察させていただくことがあります。
- お帰りの際は、ふらつきや転倒にご注意ください。



脳波検査室は、てんかんの診断や経過を見るためにとっても大切な場所です。静かで安心できる空間で、専門スタッフがやさしく対応しますので、初めての方もどうぞご安心ください。

今月の予定

9/27(土) 13:00~14:00

てんかんなんでもウェブ相談会

登録はこちらから

